

「なぜ、国民が裁判に参加する必要があるのだろうか。」考えよう。

年 組 番 氏 名

1 回目

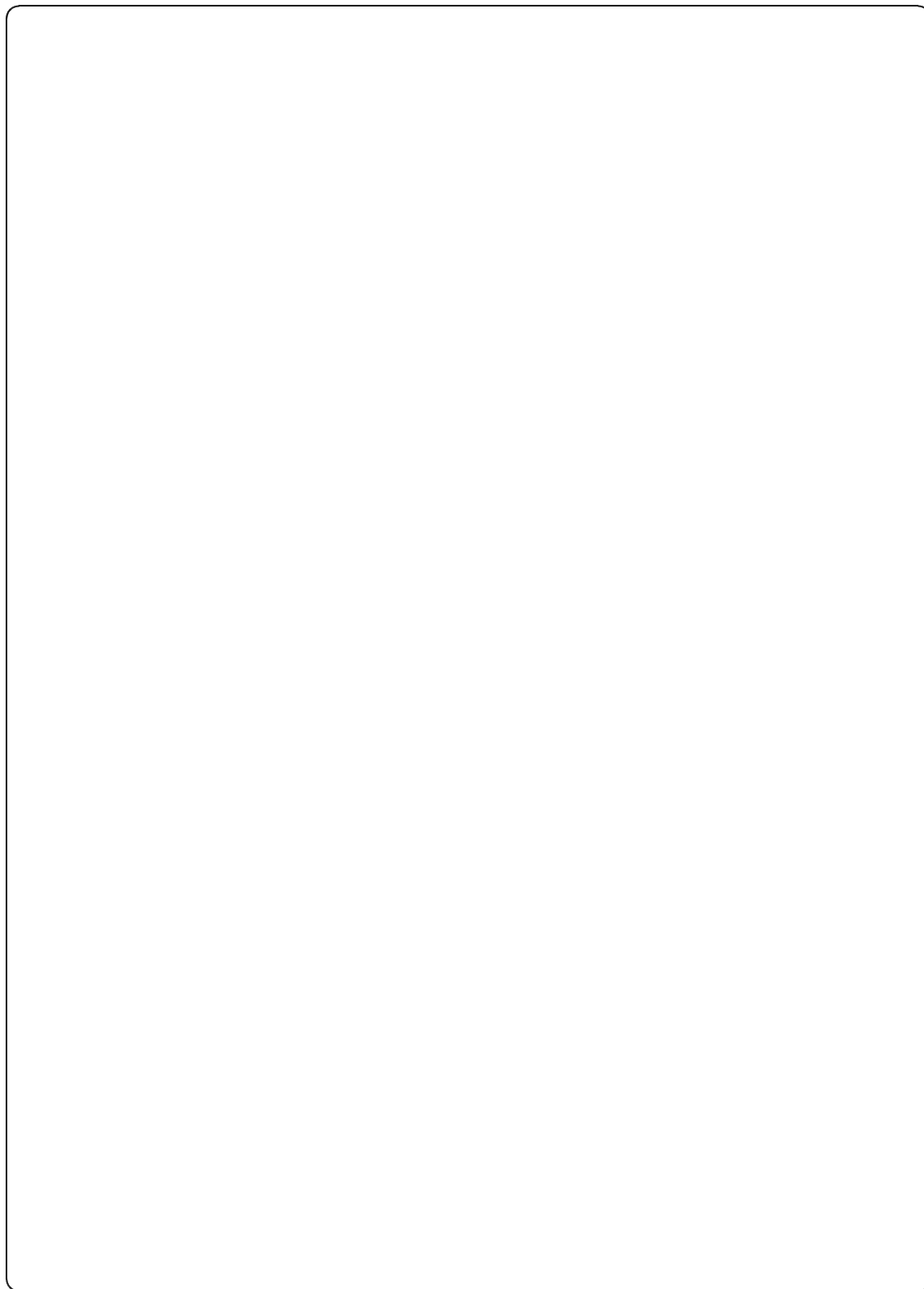
(理由)

2 回目

(理由)

裁判員として証拠を検討するとき，どのような点に気をつけなければならないか考えよう（箇条書き）。

年 組 番 氏名



判決を考えよう

年 組 番 氏名 _____

有罪か無罪かの考え方（無罪の推定）

犯人であるとする明らかな証拠がある 有罪

犯人でないとする明らかな証拠がある 無罪

犯人とするには証拠が十分とは言えない 無罪（ 無罪の推定）

1 回目

有罪 無罪

（ 根拠 ）

2 回目

有罪 無罪

（ 根拠 ）

3 回目
有罪 無罪

(根拠)

評決をとろう

1 回目

評決：有罪 人，無罪 人

2 回目

評決：有罪 人，無罪 人

裁判員制度の意義を考えよう

年 組 番 氏名 _____

あなたは、2回目の評決の結果を受けてどのように考えますか。納得できる点、納得できない点などをまとめよう。

2 裁判員制度の意義と課題についてまとめよう。

3 これまでの授業の感想をまとめよう。

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for the student to write their reflections on the course. The box is positioned centrally on the page below the instruction.